

大谷台学区まちづくり推進委員会

委員長 岩岡 一道

（問合せ先） 084-948-0136（大谷台交流館）

## 事業内容

- (1) 地域交流事業（夏祭り7月26日・ふれあい祭り10月26日・とんど祭り1月11日、18日）
- (2) 防災事業（11月23日・12月13日）
- (3) 福祉・コミュニティ事業（通年）
- (4) まちづくり講座（8月4日、6日、8日・3月11日）
- (5) 次世代育成・世代間交流事業（11月8日・12月6日）
- (6) 人権平和推進事業（5月22日）
- (7) まちづくり推進委員会運営事業（通年）



～気持ちの良い冬晴れの中～「健康ウォーキング」



～3大祭り～「とんど祭り」



～防災訓練～「バケツリレー」



～ピカピカウォーキング～  
「ごみの分別集計中」

## 成果

高齢化が地域課題となっている中、高齢者支援の取り組みなど活発に行うことができた。地域全体のまとまりがあり、行事のスタッフとして進んで手を挙げる姿も見られた。楽しみながらしているとの声が、なによりの成果である。役員が活発に意見交換のできる委員会を開催することができた。

## 課題

3大祭りなど、気候に左右される行事も多く、雨天時の対応など明確化する必要がある。また、開催時期について今後も検討していかなければならない。

また、さまざまな行事の広報の方法も課題である。

## 課題解決にむけて

委員会などを通して、雨天時の対応・周知、酷暑の中の行事を安全に行うための話し合いを続けていく。

## 大谷台学区高齢者支援の取り組み

現在、大谷台学区の高齢者率は50%を超えており、地域課題の大半を占めていますが、2023年4月に、長年の構想から満を持して立ち上がった「近所お助け隊」は、高齢者所帯のお助けマンとなっています。庭木の剪定伐採、草取り、粗大ごみ出し、室内作業など、高齢者などには難しいと思われる作業を行っています。

買い物支援チームもありますが、年間1、2件しか依頼がなく、その理由として1番多いのは、自分で品物を見て買いたいということです。

そんな中立ち上がったのが「大谷台ネコサポマルシェ」です。

坂道の多い地域でお店もなく、買い物に困っている高齢者がいる地域のサポートとして、ヤマト運輸(株)が買い物支援マルシェを実施し、まちづくり推進委員会も共催として参加しています。

介護用消耗品、衣類、米やパン、お菓子やおつまみ類、地域から新鮮野菜やお花、コーヒーなどさまざまな商品が並んでいます。

買い物だけではなく、地域の交流の場としても活用されています。たき火を囲みコーヒーなど飲みながら、ゆっくりとくつろぐ姿もあり、参加者からは「普段会えない友達と話すことができた」「欲しい物が買えた」などの感想がありました。

店舗設営・片付け、広報活動など店舗運営者だけではできないところを、まちづくり推進委員会が担っています。

今後末永く続けて行くためには課題もありますが、関係者と話し合い地域の声も聞きながら進めていきたいと思えます。



～大谷台ネコサポマルシェ～



～近所お助け隊～